

災害対策設備整備事業

総務部 危機管理課

- 1 予算額 9,860千円
- 2 目的及び効果 地震被害想定(内陸直下型地震)に基づき、災害時用の飲料水、食糧、生活必需品等の備蓄品の購入を進め、災害対応力の強化を図ります。
- 3 事業概要 大規模震災時に、避難者・帰宅困難者の方に3日間程度提供できる数量の食糧等の災害対策備蓄品を、災害対策備蓄品整備計画に基づき計画的に整備します。今年度は主に次の品目について、購入等を行います。

災害対策設備整備事業5,060千円

…敷きマット、簡易トイレ用便収納袋、簡易トイレ用圧縮保管袋、トレットペーパー、大人用おむつ、子供用おむつ、女性用生理用品、赤ちゃん用哺乳瓶

災害用備蓄品購入事業4,800千円

…飲料水、アルファ米、ライスクッキー、玄米スナック、粉ミルク



消防水利整備事業

消防本部 消防総務課

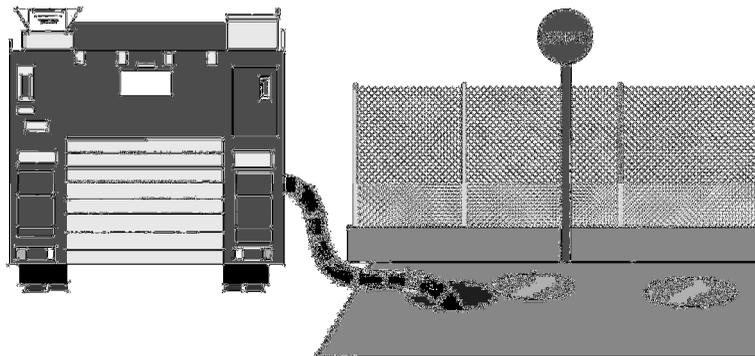
1 事業年度 平成30年度～32年度

2 予算額 10,000千円

3 目的及び効果 市民の生命・財産を地震や火災などの災害から守ることを目的に、新設公園を対象として耐震性貯水槽を設置します。

4 事業概要

事業年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
予算額	10,000千円	—	—
事業内容	設計 ・浜井場公園 ・自才前公園 ・小牧口西公園	設計 ・上切公園 工事 ・浜井場公園 ・自才前公園	設計 ・多気公園 工事 ・小牧口西公園 ・上切公園



拡充

ごみ分別簡素化・資源化促進事業

市民生活部 ごみ政策課

1 予算額 26,104千円

2 目的及び効果

資源・ごみの分別方法や収集方法を見直し、市民の利便性を高めます。また、更なるごみの減量化・再資源化を促進することにより、小牧岩倉衛生組合の運営費負担金を削減するとともに、次期ごみ処理施設建設費の縮減につなげます。

3 事業概要

①4月から、桃花台地区で先行実施した上で、10月から、市全域で小牧岩倉エコルセンターごみ処理施設の性能に合わせ分別を簡素化し、「破碎ごみ」の内、プラスチック製品、ゴム、皮革製品等は、概ね15cm以下であれば「燃やすごみ」でも排出可能とします。

②4月から、桃花台地区で先行実施した上で、平成31年4月から市全域で「雑がみ」の回収を月2回から週1回に拡大するとともに、「雑がみ」以外の古紙・古布類は、収集経費を差し引いた売却益が区の収益となるよう、市の回収から区の回収に移行し、市の収集委託料を削減します。

③4月から、古紙・古布類を排出できる集積場数を拡大します。

④10月から、これまで「燃やすごみ」として収集していた、集積場に排出された剪定枝類は、「燃やすごみ」収集後、別回収をして再資源化を図ります。